



今日は、一関の新しい文化、発明について紹介するよ。



中学生の皆さん、僕は“もちの助”、一関の伝統、もち文化を表わすちびキャラです。よろしくね。



でも、その中に、発明創作物品の部があることは、よく知らない人もいます。



第17回 “夢・未来” 子ども文化祭
子どもたちが思いどくフェスティバル
2023年
1月18日(土) 19日(日)
19時(3) 18時(3) 19時(3)

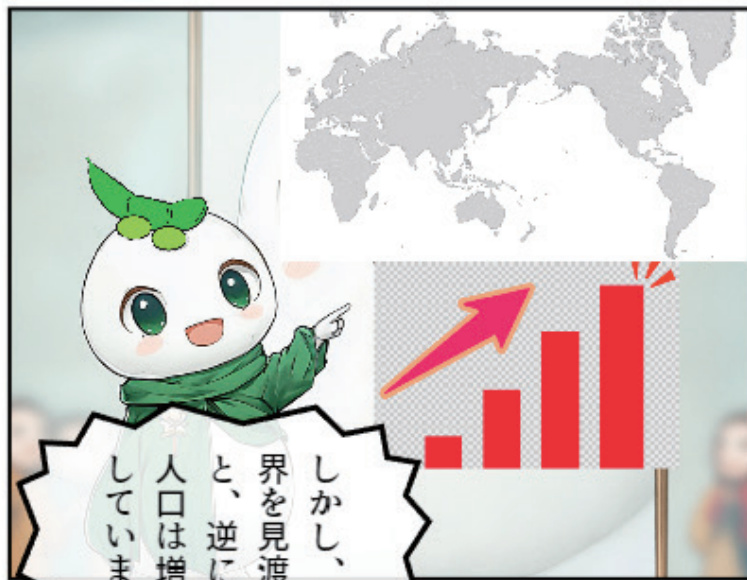
“夢・未来” 子ども文化祭を知ってますか。出品して表彰された人もいます。



では、どうして、今、発明なんてしようか？



絵画、習字と同じように、毎年、出品されて市長賞などの表彰も受けていますよ。



しかし、世界を見渡すと、逆に、人口は増加しています



皆さんも知ってるように、わが国の中でも、特に北東北や山陰地方は、少子高齢化・過疎化が進んでいる地域なのです。



アップルのステイブ・ジョブズやグーグルのラリー・ペイジの写真や名を知っている人も多いと思います



皆さんが、よく使っているスマホやインターネット検索などの便利なサービスは、主に米国の一人、二人の起業家、発明家が生み出し、発展させてきたものです。



このお餅、美味しい!

そして、この地域で仕事をつくると生活する人が増え、さらには観光客などで溢れかえることも夢では無いでしょう



そうです、皆さんが発明や起業に関心を持ち、その姿勢を続けることが、この地域の未来の仕事につながっています。